

1 目的

なんぐう地区（錦江町と南大隅町）では、さやいんげん栽培が盛んで、クラブ員の多くも栽培している。主要品種は「ベストクロープキセラ（以下：キセラ）」であるが、令和7年に販売が終了する。そこで、「キセラ」に変わる品種を選定するため、翔南倶楽部で品種比較試験に取り組み、有望品種を選定、地域への成果の公表を行った。

2 実施状況

○ 種苗会社との打合せ・計画の検討

熊本県にある種苗会社営業所を訪問し、さやいんげん品種の栽培特性を学んだ。また、既存品種に関する意見交換も行った。

その後、クラブ員同士で試験する品種を絞り込み、試験の計画を検討した。



○ 品種比較試験

クラブ員の2つのほ場で、「キセラ」、「キセラネオ」、「サクサク王子ネオ」、「バトン」の4品種を栽培し、発芽率や生育、収量、市場性を調査した。その結果、収量性が「キセラ」並〜以上で市場性の高い「キセラネオ」と「サクサク王子ネオ」の2品種を有望品種として選定した。「サクサク王子ネオ」では「キセラ」に比べ約2割増収し、収益性の向上が期待できた。

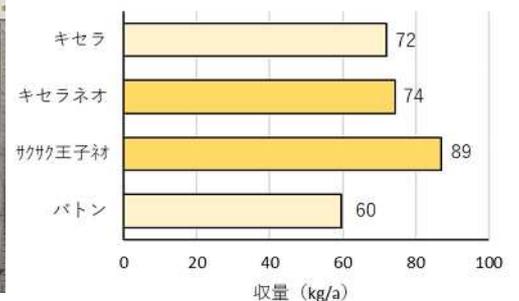


図 各品種の収量（2ほ場平均）

○ 成果の地域への波及

得られた結果を関係機関と検討後、他生産者組織に公表し、地域への成果の波及を図った。

また、クラブ員自らがプロジェクトに取り組み、調査方法や課題解決方法等を学ぶことで、クラブ員の資質が向上した。



3 今後の課題・取組

今後は、選定した品種を実際の経営に取り入れていく計画である。その際、新たな課題が生じないかを確認する必要がある。本事業で得られた成果は、地域振興局等を通じて、肝属地域の他生産者へ波及する計画である。